

第四期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会

「エコプラザ（仮称）事業のあり方中間まとめ」 （案）

—エコプラザ（仮称）検討市民会議に向けて—

- ・ 中間まとめは、エコプラザ（仮称）検討**市民会議委員**に、施設・周辺整備協議会での議論の経過をわかりやすく伝えるものである。
- ・ 中間まとめが市民会議の議論のベースとなり、今後、全市民的な議論へ展開し、よりよいエコプラザ（仮称）の施設づくりに寄与することを期待するものである。

平成 29 年 2 月

目次

はじめに	2
第1章 施設・周辺整備事業からのエコプラザ事業の位置付け	2
1. エコプラザ事業の位置付け	2
(1) 施設・周辺整備の3つの基本方針	2
(2) 施設・周辺の特徴とその意味	4
(3) エコプラザ事業の方向性	4
第2章 エコプラザ事業	6
1. 設置目的	6
2. 整備の意義・あり方	6
3. 整備の基本方針	6
4. 具体的な取組み事業の実施、施設管理運営のあり方	7
5. 施設づくりのあり方	9
6. エコプラザ事業検討課題	10
【資料編】	11

はじめに

新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（以下「協議会」という。）では、老朽化した現施設の建替えにあたり、新武蔵野クリーンセンター（仮称）（以下「新クリーンセンター」という。）の備えるべき機能、周辺地域のまちづくり等を協議することを目的に、第一期から第四期まで7年間の議論を重ねてきた。第四期協議会は、平成28年6月から平成30年6月までを任期としているが、エコプラザ（仮称）検討市民会議（以下「市民会議」という。）が平成29年2月より開催される運びとなり、第四期協議会からも代表委員を選出し、議論に参加することとなったため、エコプラザ（仮称）（以下「エコプラザ」という。）の議論を先行し、中間まとめを作成した。今後、中間まとめが市民会議の議論のベースとなり、全市民的な議論に展開するものになればと考える。また、代表委員が市民会議の議論を第四期協議会に持ち帰り、**協議会内で**さらに議論を深め、市民会議にその意見をもち込むことを**繰り返すこととする。なお、協議会では、これまで新クリーンセンターの役割や建築デザイン、エネルギー活用等をテーマに議論を進めており、この中間まとめは、ごみ減量等の視点で記載している。**

第1章 施設・周辺整備事業からのエコプラザ事業の位置付け

1. エコプラザ事業の位置付け

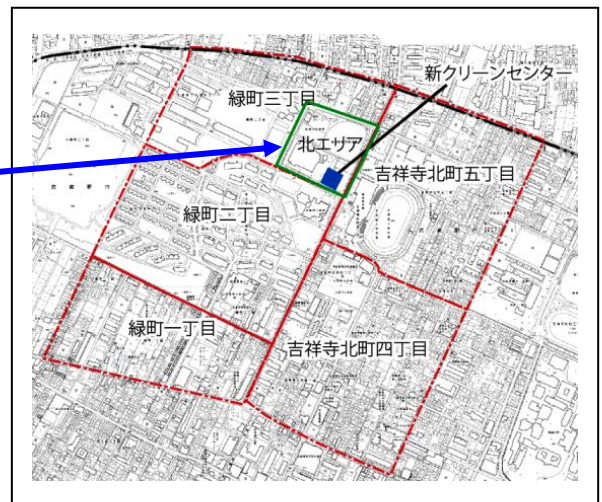
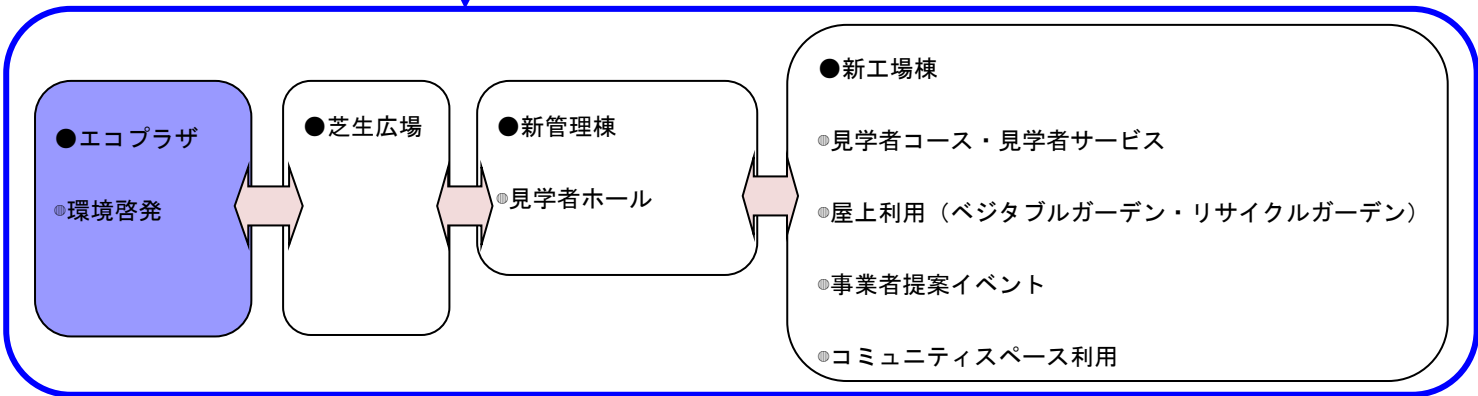
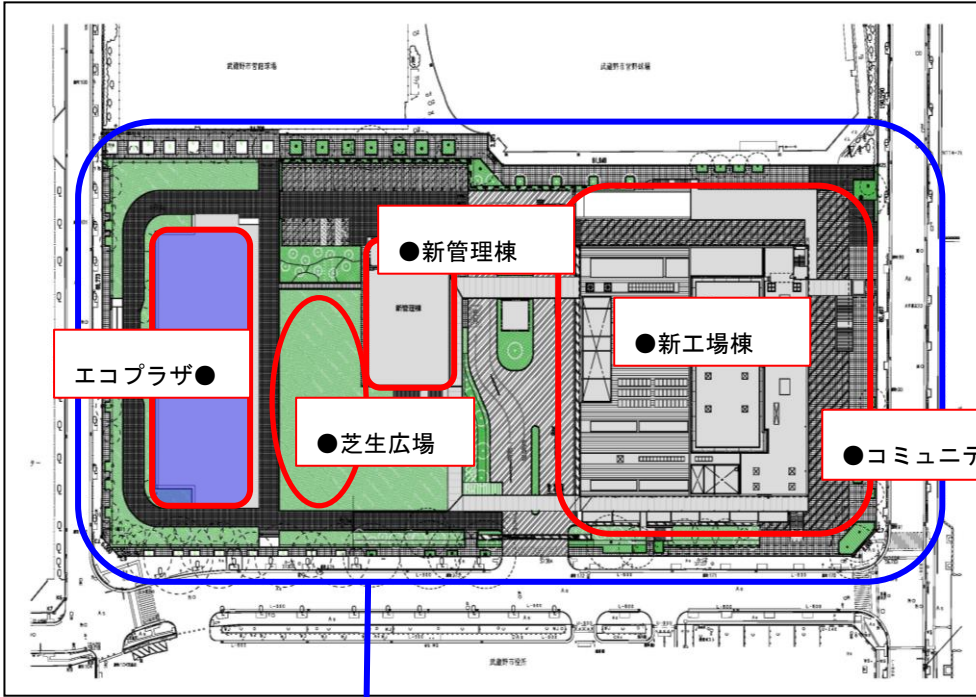
新クリーンセンターの機能や周辺地域のまちづくり等を協議する際、以下の3つのエリアで検討を行っている。一つは「施設整備」で、新クリーンセンター敷地内における新工場棟・新管理棟・芝生広場・エコプラザの整備である。二つ目は、新クリーンセンターと敷地に隣接する野球場・テニスコート・緑町コミュニティセンターを含む「市役所北エリア整備」である。三つ目は、市役所北エリアを中心とした「周辺まちづくり」である。これらは以下の「施設・周辺整備の3つの基本方針」でつなぎ、この地域で「低炭素社会に向けたモデル地域としての取り組み」を行い、低炭素型社会の実現を目指すものである。そのため、エコプラザもこの施設・周辺整備の一つの重要な要素となっている。

(1)施設・周辺整備の3つの基本方針

施設・周辺整備においては、「**低炭素モデルの実現**」、「“地域力”の向上」、「まちづくりとの連携」を柱とする第一期協議会の方針に沿って事業を進める。具体的な事業のあり方はすべてこの方針に照らして具体化していく。

●施設・周辺整備の3つの基本方針▶**低炭素モデルの実現**▶“地域力”の向上▶まちづくりとの連携

●施設整備（新工場棟・コミュニティスペース・新管理棟・芝生広場・エコプラザ）



●市役所北エリア整備

- 積極的な緑化や自然エネルギー利用による環境に優しいまちづくり
- 新クリーンセンター、緑町コミュニティセンター、緑町ふれあい広場、野球場、テニスコートが融合し、周辺地域のまちづくりの核となる
- 景観形成、ユニバーサルデザインの採用、防災性能の強化による安全・安心・快適なまちづくり

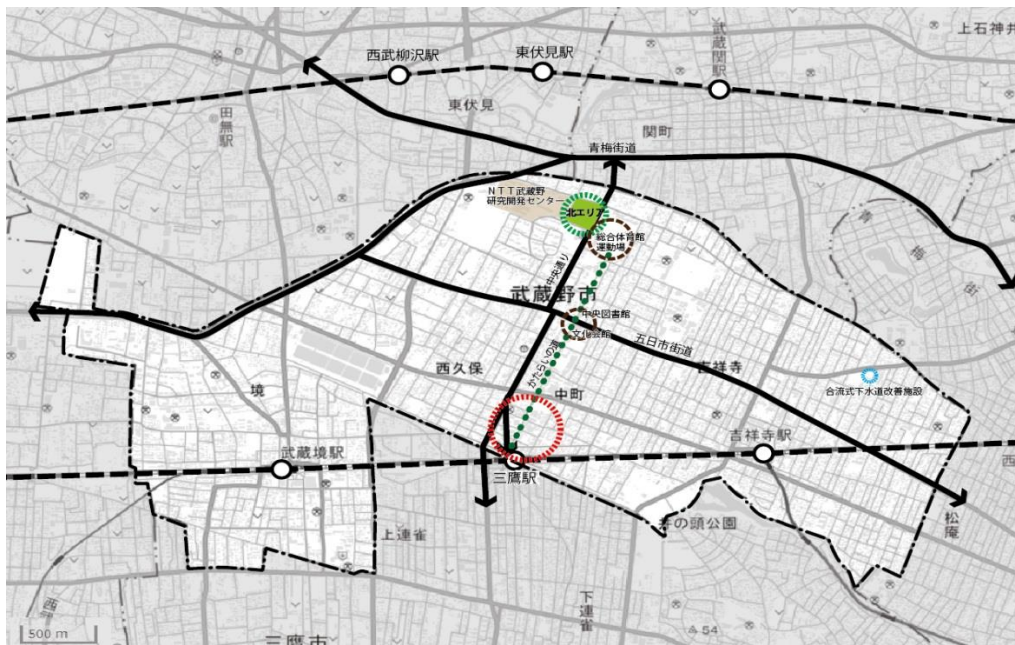
●周辺まちづくり

- 周辺地域全体で取り組み CO2 排出削減
- 新クリーンセンターがエコでつなぐ周辺地域のまちづくり
- 新クリーンセンターを核とする周辺地域のまちづくり

(2) 施設・周辺の特徴とその意味

新クリーンセンターの周辺には以下に示す地域の特徴があり、新クリーンセンターとエコプラザを整備することで、多くの人を広域からこの地域に呼び込むことが期待できる。施設・周辺整備に込めた考えやその実践、この地で展開される取り組みを市内外へと広く伝搬する効果を望むことができる。

このような地域特性を最大限に活用して施設・周辺整備に取り組み、地域の魅力を高めていくことは武蔵野市にとって重要な意味を持つ。



- ・市の中央に立地 ▶新クリーンセンター及び市役所北エリアは、東西に長い市域の中間に位置する。
- ・公共施設の集積 ▶周囲には市役所や、総合体育館及び陸上競技場、市営プール、市営テニスコートや軟式野球場があり、これら施設を利用する市民が市内全域から日々集う場所となっている。
- ・大規模事業所 ▶NTT武蔵野開発センターや市役所などへの通勤者、関係者も年間を通じて絶え間なくこの地を訪れている。
- ・交通アクセス ▶中央通りは、JR中央線三鷹駅と西武新宿線武蔵関駅及び西東京市方面を結ぶ路線バスが運行しており、五日市街道や青梅街道からも近い。

(3) エコプラザ事業の方向性

協議会では、これまでの間、エコプラザのあり方等について議論を重ねてきた(5頁参照)。その際、これまでのクリーンセンターの歴史や立地条件を前提としており、ごみを中心として事業を考える際の方向性については、以下に示すとおりである。

- ・ごみの減量化を市民に促す。それを創造的に行う拠点がエコプラザである。新クリーンセンターという、市民が出したごみを焼却する施設の隣に、現施設の一部を再利用して整備することに重要な意義がある。
- ・プラットフォームの空間を生かしたこれまでの実践により、創造的な方法で、多くの市民が関わりを持ち、そのことが市民の意識を変えていく手応えを感じることができた。したがって、今後もこの方向性を追求していく。
- ・エコプラザは、新クリーンセンターと一体で、ごみの減量化、非焼却処理、広域処理、分散処理の可能性を追求し、さらなる焼却施設、焼却場の規模縮小への道筋を見いだしていく。こうしたことを前提に、エコプラザのあり方を検討していく。

<p>整備の意義、 目標、あり方</p>	<p>○設置目的「基本理念の実現に向けて、具体的な取組みを進めるための施設」</p> <p>○整備の意義・あり方(市民の行動)</p> <p>「ライフスタイルを変える」①共感性がなければ人間の行動は変わらない（学び合う場と仕組み） ②気づき、学び、コミュニケーション</p> <p>「ごみ減量につなげる」①廃棄物は資源である。 ②ごみ減量化を促してCO2削減、低炭素社会につなげる。 ③ごみを減らすようなライフスタイルに変えていきかけ（気づき・学び）をつくる。 ④ごみ問題に全く興味がない人にも目を向けてもらえるようにする。</p> <p>○広範な環境啓発機能の付加(ごみ減量啓発との相乗効果連携▶低炭素社会の実現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境への関心の高まり▶地球温暖化の影響とみられる異常気象・自然災害の多発など。 ・集客、新たな層への関心の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ▶啓発の間口を広げることで、より多くの方が来館する。 ▶ごみ以外の環境に関心を持って来館した方が、ごみの問題にも気づき、関心を持つ。 ・理解・行動の促進▶日常生活と多様な環境とのつながりを知り、理解が深まることで、行動へと結びつく。 ・交流・連携の推進▶市民や多様な環境団体、企業・事業者などがお互いの活動を知り、交流・連携を図る。 <p>○対象「全市民(子ども、主婦層、ごみに興味のない人への働きかけ)」▶全市民的な施設づくり</p>	
<p>基 本 方 針</p>	<p>低炭素モデルの実現</p>	<p>「エコロジーや省エネルギーによる低炭素モデルエリアを構築する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境啓発の拠点
<p>地 域 力 の 向 上</p>	<p>地域力の向上</p>	<p>「学習、雇用、産業、集いなどの機能を導入し、地域の活力の更なる向上に役立てる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域力を結ぶ核。地域力を集めて、地域力で運営
<p>ま ち づ く り と の 連 携</p>	<p>まちづくりとの連携</p>	<p>「さまざまな上位計画や整備事業と連動し、よりよいまちづくりに貢献する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成への貢献
<p>具 体 的 な 取 り 組 み</p>	<p>○機能 ⇒【委員意見】</p> <p>「学び(気づき・発見・共感)～環境啓発、ごみから学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加体験型の講座・講習 ・参加体験型の展示・見学 ・参加者が学びあえる仕組み <p>「創造(3R+アップサイクル)～ごみから新たな価値あるものをつくる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不用品・廃材の収集・保管・修理・加工 ・リサイクル・アップサイクル品の展示、販売、素材提供 ・修理・リサイクル・アップサイクル系の講座・講習会 ・不用品交換掲示板、かえっこ、フリーマーケット <p>「コミュニケーション(交流・ネットワーク・情報発信)～ごみを媒介に対話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行 ・カフェの運営 ・活動場所の提供・交流スペース ・市民の活動サポート・困りごとの相談窓口・市民や団体のネットワークづくり 	<p>○空間配置 ⇒【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラットホームの有効活用 ・ひとの導線を考えた設計 ・広場との連続性 ・バリアフリー化 ・工房スペースの環境 ・多目的スペース
<p>取 り 組 み 方 、 運 営 の 方 針</p>	<p>○運営のあり方 ⇒【委員意見】</p> <p>ごみ問題について「全ての市民が利用でき、市民のしたいことをサポート」「人材育成やネットワーク、地域力向上を重視」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、市民団体、地域とのネットワークを活かす ・他の公共施設との連携 ・福祉・教育分野との連携 ・運営の担い手を育てる ・柔軟な運営形態 	

第2章 エコプラザ事業

前章の整理を踏まえ、本章ではエコプラザの設置目的、整備の意義、基本方針、取組事業、施設管理運営のあり方をまとめ、提案するものである。**今後、市民会議の中で、議論を深めてもらいたい。**

1. 設置目的

協議会では、これまでごみを中心とした議論を進めてきた。今後、市民会議にて広範な環境啓発に関する議論を進めることを想定し、第五期長期計画・調整計画の記載を踏まえ、「資源、エネルギー、ごみ、緑、水循環、生活環境などの多様な視点から、環境啓発を行う拠点として設置する。」ことを目的とする。

2. 整備の意義・あり方

ごみを中心に議論を進めてきた協議会から示すエコプラザ整備の意義・あり方は、以下のとおりである。ごみ減量や発生抑制等の課題については、これまでの歴史や立地条件等を考慮すると、エコプラザの軸足の一つとして重要なポイントであるが、設置目的に示した「多様な視点から環境啓発を行う拠点」としての意義やあり方についても、今後議論を深めることで、より良い施設になるよう期待する。

現クリーンセンターは、市域の狭い武蔵野市において、やむなく住宅街に設置した清掃工場である。焼却施設をはじめとする設備は30年を経て老朽化したが、建物は耐用年数（60年）の半分を過ぎたばかりで、事務所棟はまだ利用に耐えるものである、

ごみをピットに投入する場であるプラットホームは柱のない屋根付き広場として市内にはない異空間で、クリーンセンターの様々なイベント会場として利用されてきた。

この現クリーンセンターの建物の一部をエコプラザとして転用することを検討する。この建物は武蔵野市におけるごみ収集の歴史を体感し、ごみ減量のための活動を展開し、建物自体がごみ減量のシンボルとなるよう保存・活用する。

3. 整備の基本方針

<低炭素モデルの実現>

環境啓発の拠点として、低炭素型社会に向けた市民の行動を牽引し、市域全体に広めていく事業を行う。

<“地域力”の向上>

地域力を結集し、地域力の向上・地域力を結ぶ核となる運営を行う。

<まちづくりとの連携>

新施設や周辺施設とあわせて、緑化、景観形成、バリアフリー化を徹底し、地域の価値向上に貢献する。

4. 具体的な取組み事業の実施、施設管理運営のあり方（提案・事業例示）

エコプラザは、ごみ減量化、低炭素化に向けた行動を促し、市民生活に寄り添うことを基本姿勢に、次の考え方で、市民の日常生活における衣食住を考慮した事業を実施し、施設の管理運営を行う。

市民にごみ減量化、低炭素化に向けた行動を促す（気づき・発見・共感）

- ・新たに買わなくても使える素材がある。
- ・すてなくてもいい方法のヒントをくれる機会がある。
- ・すてなくていい方法を一緒に考えてくれる人がいる。そのためのつながりがある。

市民のごみ減量化、低炭素化に向けた行動を支援する（ささえる・はぐくむ）

- ・市民の「こうしたことができたらいいな」に耳を傾け、一緒に考え、取り組む。
- ・それができる人のつながりがある。
- ・誰でも、いつでも参加できる場がある。

全ての市民が利用することでごみ減量化、低炭素化に向けて行動を起こす（つかう・ふれあう）

- ・誰でも、自由に利用できる。
- ・利用するすべての人が、ここで過ごすひとときを分かちあうことができる。
- ・利用者のニーズに応じて、自在に空間を扱える。

開かれた場 ・通常は自由利用 **使い勝手のよい空間** ・必要に**応じて**、区切って使用できる。

聞く耳を持つ人 ・市民や主催者等利用者の話に耳を傾けるスタッフを常時配置し、以上の原則を踏まえつつ、利用者のしたいことを実現する方法を一緒に考え、柔軟に施設利用の運用を図る。

広報 ・多くの市民がエコプラザを利用し、実施する事業に参加することで、ごみ減量化、低炭素化に関心を持つようにするため、広報誌の発行、SNSの利用など広報に取り組む。

- ・広報誌の企画、編集の一部を市民参加型でプロジェクト化する。

新クリーンセンターとの連携 ・(例) 新クリーンセンターの見学者が、エコプラザにも訪れるよう、新クリーンセンターと連携した見学者コースの設定、相互案内などを行う。

ワークショップ ・すてなくてもいい方法のヒントをくれる機会としてのワークショップ ・「ごみ素材化ワークショップ」 ・素材化することが目的ではなく、素材化する方法を理解し、その体験を通じて一緒にすてないようにすることに取り組むつながりを育むことが目的。 ・クリエイティブ・リユース、アップサイクル、リペアといったキーワードに関連し、市民の日常生活における衣食住に関わるテーマのワークショップ

素材ライブラリー ・「ごみ素材化ワークショップ」でできた素材を分類、展示し、必要な人に提供する「素材ライブラリー」

展示事業 ・アップサイクル製品の展示など、エコプラザに訪れた人が、何気なく、すてなくてもいい方法のヒントに触れる機会として展示

プロジェクト事業 ・すてなくてもいい方法のヒントをくれる機会として、一定期間を通じて取り組むプロジェクトを立ち上げて実施する。 ・専門家を招聘し、運営主体のスタッフと市民参加者が協働で取り組む事業。

その他の環境啓発事業 ・市の環境施策に基づき、市民への環境啓発を目的に、資源、エネルギー、ごみ、緑、水循環、生活環境などの多様な視点から実施する事業。定期的なイベント開催など。(例) 環境フェスタ

市民サポート事業 ・市民のごみ減量化、低炭素化に向けた行動を支援する機会として次の事業を行う。

「モヤモヤ・カフェ」(個人的なモヤモヤに耳を傾けて、プロジェクトにつなげる機会を定期的に開催)

「市民発意型プロジェクト支援事業」(市民の「こんなことしたい」をプロジェクト化して、エコプラザの共催事業にして実施するための支援プログラム)

「リペア工房」(市民が大切なものを修理して使い続けるための場所や道具、その技術を教えてくれる仕組みを持ち市民同士が学び合い、教え合う場を常設)

「エコボ」(クリーンセンターが2012年より実施している、リユース掲示板エコボを、エコプラザの事業として継続)

「相談機能」(すてなくていい方法を一緒に考えてくれるスタッフを配置して「相談機能」を常時設けておく。また、相談に応じられるよう、市民活動団体、事業者、企業、作家、クリエイター、アーティストなどと広範なつながりを作っておく。)

市民共催事業 ・市民発意型プロジェクト支援事業で立ち上がったプロジェクトや、その他の市民団体が主催する事業について、実施目的がエコプラザ主催事業と共通する場合、市民共催事業として実施する。・「かえっこ(おもちゃの交換会)」は、市民共催事業として実施する。

5. 施設づくりのあり方

具体的な事業の実施、施設管理運営を展開していくための施設づくりについて、次の3点を考慮し、これらが高度にバランスのとれた空間を追求する。

①事業実施、管理運営にとって最も効果的な施設づくり

・旧施設プラットフォームの空間を生かすことを前提に、エコプラザで実施する事業や管理運営にとって、最も効果的な空間配置やしつらえ、可変的な空間の使用方法などを検討する。

②空間自体が、市民のごみ減量化、低炭素化に向けた行動を促す

・エコプラザを訪れた市民が、施設の雰囲気を感じることによって、ごみの減量化や低炭素化の行動につながるような空間づくりを行う。

・旧施設のプラットフォームを活用すること自体そうであるように、ロングライフデザインの物を採用する。

・エコプラザで目にし、手に触れるものすべてが、すてなくてよい方法の気付きやヒントになるものとする。

③魅力的で心地よい空間づくり

・市民にごみの減量化や低炭素化への行動を促すためには、そうする必要性を理解するだけでなく、そうすることがステキで魅力的だと感じる事が重要になる。その意味で、施設の空間自体がセンスよく、魅力的で、何度でも訪れたいような心地よさがなければならない。エコプラザと芝生広場との関係も含めて、そのような空間づくりを行う。

《検討事項》

・展示事業、素材ライブラリーの展示内容、リペア工房の道具、機材、什器の配置等は、空間構成要素として、施設の魅力づくりに貢献するものとなるよう工夫を行う。

・カフェやショップは、空間の心地よさを決定づける重要な要素であるため、そこで提供する商品やサービスのデザインも含めて、そのあり方を検討する。

6. エコプラザ事業検討課題

以下の項目は、協議会として中間まとめを作成する際に、委員から出されたエコプラザ事業の検討課題である。今後、市民会議の場で検討いただき、議論を深めてもらいたい。

- ・理想の追求と同時に、経営感覚が必要である。あまり広げすぎると長続きできない、確実なところで考えていかなければいけない。また、人材確保も課題と感じる。スキルのある人材を集めるのはなかなか難しく、専門性を求めると人件費もそれなりに必要である。この事業全体にかかるコストを十分頭に入れて検討する必要がある。(委員意見)
- ・財産（公の施設）、都市計画法、建築基準法、廃棄物処理法など法令の制約条件の確認（事務局）
- ・環境教育の展開方法。環境教育を全市的な取り組みとしてどのように施策展開し、それにエコプラザがどう関わるのか。
- ・ごみ以外のテーマ（下水道その他）について、エコプラザとして何をすべきか。
- ・低炭素社会の実現に向けた市の具体的な施策展開。低炭素モデル地域をどう具現化するか。「低炭素都市づくりガイドライン」（国交省）の適用、エコまち法に基づく低炭素まちづくり計画の作成、環境モデル都市（内閣府）の適用など。
- ・事業者に対するごみ減量化を促すための取り組み。事業者側からのごみ減量化に向けた取り組みの提案をエコプラザとして受け止める方法など。

資料編

運営主体のイメージ（一般的な類型）			事例			
運営主体	特徴		施設名	管轄	運営団体	
行政	公益性・公平性 継続性・安定性	法に基づく縦割り ニーズ多様化への対応	武蔵野市民会館	武蔵野市	武蔵野市	
民間	財団法人 等	継続性・安定性 業務ノウハウ・実績の蓄積 市民から一定の信頼 行政との連携	柔軟性等に課題がある場合 も	リサイクルハウス かざぐるま明石町	中央区	中央区シルバー人材センター
				町田市リサイクル文化センター・リサ イクル広場まちだ	町田市	一般財団法人 まちだエコライフ推進公社
				武蔵野プレイス	武蔵野市	公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団
	NPO 市民団体	柔軟性・専門性・多様性 自主性、主体意識の高さ 地域住民の信頼 地域とのネットワーク・連携 管理運営を通じた市民相互の学 び合い	組織・経営基盤の継続性・安 定性に課題がある場合も	エコにこセンター (正式名称:多摩ニュータウン環境 組合リサイクルセンター)	多摩ニュータ ウン環境組合	NPO法人 東京・多摩リサイクル市民連邦
				エコプラザ用賀	世田谷区	NPO法人 せたがや環境推進21
				武蔵野市立コミュニティセンター	武蔵野市	コミュニティ協議会
				むさしの自然観察園	武蔵野市	NPO法人 武蔵野自然塾
	企業	専門性・迅速性 コスト意識が高く効率的	当初は地域とのネットワーク・ 信頼関係が未構築 利潤確保と公益性とのバラン ス	港区立エコプラザ	港区	毎日アースデイ株式会社
				IID世田谷ものづくり学校	世田谷区	株式会社ものづくり学校／定期借家
				アーツ千代田3331	千代田区	合同会社コマンドA / 定期借家

新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会 環境啓発施設視察先一覧

視察時期	設置者	施設名	所在地	開館時間	休館日	特徴					開設時期	運営団体/運営形態
						学び	リサイクル事業	スペース等貸出	建築	その他		
H22.8	中央区	リサイクルハウス かざぐるま明石町	 	中央区明石 14-1	9:00～ 17:00	月曜、祝日、 年末年始	リサイクル関連の講 座、図書等貸出	不用になった衣類・雑貨 等の展示・販売、粗大ご みリサイクル品の修理・ 無料提供、不用品交換 情報揭示	—	区立集会施設等が入る ビルのB1F～3Fを利用。	H6.12	中央区シルバー人材 センター/委託
H22.8	港区	港区エコプラザ	 	港区虎ノ門 3-6-9	9:00～ 17:00	第4月曜、年末 年始	幅広いテーマのイベ ント、セミナー・講演、 ワークショップ、図書 コーナー	—	登録団体に会議 室貸出	区民向け住宅との複合 施設の1～3F。間仕切 り式の多目的室。	H20.4	株式会社キャリアライ ズ(←毎日アースデイ 株式会社H20～24) /指定管理者
H23.2	刈谷知立 環境組合 (刈谷市・ 知立市)	刈谷知立環境組 合リサイクルプラザ	 	刈谷市半城 土町東田46	10:00～ 16:00	月曜、年末年 始	—	不用になった生活用品 の展示・販売、粗大ごみ リサイクル品の修理・販 売	—	ごみ処理施設に併設。 旧ごみ処理施設の管 理棟を啓発施設として 再利用。	H21.4	組合直営
H24.3	多摩ニュータ ウン環境組合(多 摩市・八王子 市・町田市)	エコにこセンター (多摩ニュータウン 環境組合リサイク ルセンター)	 	多摩市唐木 田2-1-1	10:00～ 17:00	月曜、年末年 始	リサイクル関連の講 座、イベント、図書・ 資料コーナー	粗大ごみリサイクル品の 修理・展示・販売(ホーム ページで公開)、不用品 交換情報揭示	会議室の貸出	ごみ処理施設に併設	H14	NPO法人 東京・多 摩リサイクル市民連 邦/委託
H24.3	町田市	町田市リサイクル 文化センター・リサ イクル広場まちだ	 	下小山田町 3160	9:00～ 16:30	日曜、祝日、 年末年始	イベント(フリーマー ケットなど)	粗大ごみリサイクル品の 修理・展示・販売、拠点 回収、リサイクルショップ	—	ごみ処理施設に併設	S57(リサイ クル広場ま ちだは H20)	一般財団法人 まち だエコライフ推進公 社/協定
H24.9	世田谷区	エコプラザ用賀	 	世田谷区用 賀4-7-1	9:00～ 17:00	月曜、年末年 始	ごみ減量・リサイクル に関する講座・講習 会の開催、図書等貸 出	粗大ごみ選別・修理、リ ユース家具等の抽選頒 布、拠点回収、リユース 家具等のPR展示、不 用品交換情報揭示	—	粗大ごみの積替所に併 設。旧給食センターの 施設を活用。	H18.5	NPO法人せたがや環 境推進21/委託
H24.9	世田谷区	IID世田谷ものづく り学校	 	世田谷区池 尻2-4-5	11:00～ 21:00	月曜、年末年 始	ものづくりに関する ワークショップ・イベ ント・セミナー	—	教室スペースを 様々な分野のク リエイターに賃貸	廃校となった中学校施 設を区から借用	H18	株式会社ものづくり学 校/定期借家
H24.9	千代田区	アーツ千代田333 1(ちよだアーツ スクエア)	 	千代田区外 神田6-11- 14	10:00～ 21:00	年末年始 (ギャラリー・カフェ は火曜定休)	文化芸術に関する展 示、ワークショップ、 イベント	かえっこを常設	教室スペースを アーティスト等に 賃貸、屋上菜園 の貸し出し	廃校となった中学校施 設を区から借用。芝生 広場とつながるウッド デッキ・共用スペース	H22.6	合同会社コマンドA /定期借家(5年間)
H25.2	京都市	京エコロジーセン ター(京都市環境 保全活動セン ター)	 	京都市伏見 区深草池内 13	10:00～ 21:00	木曜、年末年 始	イベント、講座、展 示、環境図書コー ナー	—	会議室等の貸出	各種環境配慮技術を 導入(建築自体が展示 物)。	H14	公益財団法人京都市 環境保全活動推進協 会/指定管理者
H26.3	江東区	環境学習情報館 えこつくる江東	 	江東区潮見 1-29-7	9:00～ 17:00	月曜、年末年 始	常設展示、環境学習 講座・イベント等の開 催、情報コーナー	—	登録団体への部 屋の貸出	清掃事務所との複合施 設の1・2F。各種環境配 慮技術を導入。	H19.2	区直営
H26.3	東京ガス	環境エネルギー館 (H26.3閉館)	 	横浜市鶴見 区末広町1- 7-7	9:30～ 17:00	月曜、年末年 始	常設・企画展示、情 報コーナー、環境学 習講座・イベント、地 域の研修等に講師 派遣	—	—	各種環境配慮技術を 導入(建築自体が展示 物)。	H10.11	アーバンコミュニケー ションズ株式会社

平成 28 年 12 月 20 日

第 4 回協議会 資料 6

環境啓発施設視察記録集

(1) 港区エコプラザ

◆施設概要

- ・平成 20 年開設
- ・所在地 港区浜松町 1-13-1
- ・開館時間 9:30~20:00
- ・休館日 第4月曜日、年末年始
- ・管轄 港区



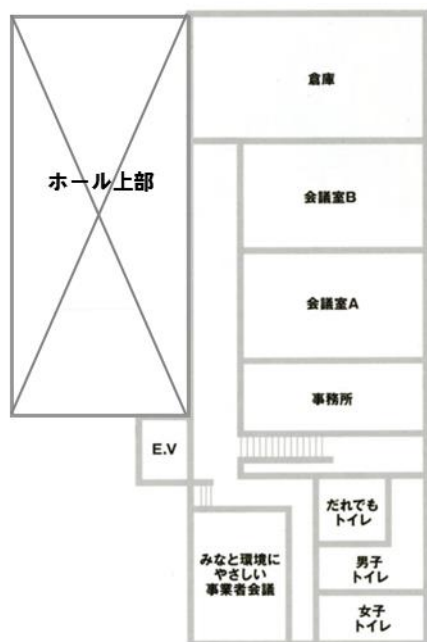
◆設置目的

港区の歴史や文化を通じて、さまざまな団体の取り組みから「環境」を再発見し、集い合い、学び合い、教え合う場所。「低炭素社会」、「自然共生型社会」、「循環型社会」の3つのキーワードをテーマに、身近なエコ活動から地球規模のテーマまで、幅広く紹介したり、体験したり、学習したことを発表したり、子ども、大人、企業や団体も含め、楽しいエコ発信基地として整備。

1F 案内図 1F GUIDE CHART



3F 案内図 3F GUIDE CHART



◆運営

- ・運営主体 株式会社キャリアライズ (←毎日アースデイ株式会社)
- ・運営形態 指定管理 (5年)
- ・運営費 委託費は年間約 7000 万円

◆施設の機能

啓発・学び・交流

イベント、セミナー、講演、ワークショップ／図書コーナー／会議室の貸出、ビオトープ／間伐材・ダンボール家具等の採用

◆施設の様子



▲サーチングルーム
(図書コーナー)



▲ラーニングコーナー
(パネル展示)



▲ビオトープ

◆参考になったポイント

- 内装に間伐材を使っており、木の香りがした。
- 7000 万円の運営費を考えると、武蔵野市には程遠いと感じたが、みんなが集まる場所として取り入れられたらと思う。
- 外の風車や、ビオトープなど、子供から大人まで興味を持てるものだった。
- 区民というより、働いている方が帰りによる施設のように思った。デザインも優れていて、人が来るように工夫されていた。
- 会議室は登録制で無料で貸しているようであった。
- 体験や設備は飽きられてしまうので用意せず、企画で勝負していた。
- 椅子も壁に納めることができ、無駄が無いなと思った。
- 会議室が3つに分かれていて、そのそれぞれの壁を収納して一つの大きな部屋になるということは、便利だと感じた。

(2) エコにこセンター（多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター）

◆施設概要

- ・平成 14 年開設
 - ・所在地 多摩市唐木田 2-1-1
 - ・開館時間 10:00~17:00
 - ・休館日 月曜日
 - ・管轄 多摩ニュータウン環境組合
- ※清掃工場併設



◆設置目的

資源循環型社会を目指して、市民、事業者、行政が一体となって、環境やリサイクルについて考え、不用品、再生品の「捨てない工夫」、「活かす工夫」、「使う工夫」、など資源の流れを尊重した環境に優しい生活習慣を身につけていくための活動拠点。市民が何時でも集い、互いに交流し合い、リサイクルに関して、楽しく学習し、実践を通じて意識の高揚、啓発を図り、新しい生活文化を育む「地域活動型施設」として建設された。



◆運営

- ・運営主体 特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦（家具の修理・清掃はシルバー人材センターへ委託）
- ・運営形態 管理委託（5年間の長期継続契約）
- ・運営費 委託費は年間約1,600万円（うち人件費約1,200万円）
- ・運営理念 生活者市民、行政市民、企業市民、リサイクル企業、市民、教育研究者市民が「市民」という概念で連携し、五位一体（ごみいったい）となって循環型社会をつくっていくことを目的とする。

◆施設の機能

リサイクル・ごみ減量

リサイクル家具・自転車の販売／YOU-YOUボード

啓発・交流・学び

会議室の貸出／書籍・資料の閲覧／講座の開催／ちびっこスペース／ビジュアルコーナー

◆施設の様子



▲子どもによる工作の展示



▲リサイクル家具の展示・販売



▲リサイクル部品の販売

◆参考になったポイント

- ・粗大ごみとして清掃工場に届いた家具類の中で使用可能なものをきれいに清掃・補修して展示販売を行っている。
- ・家具修理は、シルバー人材センターに委託している他、一部を障害者の就労の場に行っている。
- ・家庭で不要になった陶磁器製食器を回収し、粉碎したうえで資源の一部に利用した陶土を使った「リサイクル陶芸室」の開催やリサイクル食器の展示販売の実施している。
- ・廃品を利用した手芸・工作などの体験教室を開催している。
- ・子供を対象としたイベント、職場体験やインターンシップも実施している。
- ・子供や親からの評価が高い。
- ・広いバックヤードがあった。
- ・人が立ち寄りやすい立地、立ち寄りやすい空間であった。
- ・運営団体は、センター運営の受託応募を契機にNPO法人格を取得。
- ・月1回、一部事務組合と会議を開いて情報を共有し、連携を取っている。

(3) アーツ千代田3331

◆施設概要

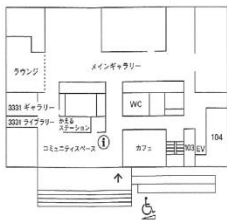
- ・平成 22 年開設
- ・所在地 千代田区外神田 6-11-14
- ・開館時間 10:00~21:00
- ・休館日 年中無休
(ギャラリー・カフェは火曜定休)
- ・管轄 千代田区



◆設置目的

千代田区文化芸術プラン（文化芸術の振興を通じて区民の豊かな生活を実現し、優しさのあふれる美しいまちを創ることを目的とした千代田区文化芸術基本条例に基づく具体的な行動計画）の重点プロジェクト。統合により廃校となった「千代田区立鍊成中学校」の校舎を改修し再利用。

1F



メインギャラリー [\[リンク先\]](#)
 期間ごとに展覧会を行う3331のメインギャラリー。チケットが必要な場合は、入り口前の受付にてご購入ください。入場料は展覧会ごとに異なります。

カフェ Food Lab 3331 [\[リンク先\]](#)
 ラUNCHやディナーに、お茶タイムに最適なカフェ。作品の展示や、料理家たちとのコラボレーションによるイベントを行うことも。（営業時間:11:30~21:00 L.O.）

コミュニティスペース [\[リンク先\]](#)
 休憩場所としても利用できるスペース。イベントやワークショップなども開催されます。（イベント開催時に貸し切り、有料となる場合もあります）

ラウンジ [\[リンク先\]](#)
 誰でも無料で利用できる休憩スペース。パーティやイベントを行うこともあります。（イベント開催時には貸し切り、有料となる場合もあります）

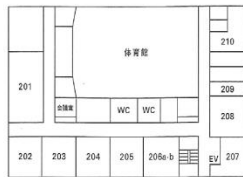
かえるステーション
 アーティスト・職人の「kaekka」プロジェクトにより子どもたちから集められたおもちゃを「かえっく」して遊んだり、素材として利用するオープンな場所。

3331 ギャラリー
 新進展覧のアーティストによる作品をより身近に鑑賞、気軽に購入することができるギャラリー。郵票形式でアーティストを紹介しています。

3331 ライブラリー
 国内で発行されている多数のアーティストから、各地のアートやカルチャーシーンを感じられるものをレイト、イスに並べてあっさり閲覧できます。



2F



会議室 [\[リンク先\]](#)
 10人までの小規模な打ち合わせや、展覧会での利用に最適なミーティングスペース。

201・202 アキバマビ21
 多摩美術大学が運営する。若きアーティストたちのための作品発表の場、多岐種の卒業生が、互いに切磋琢磨しながら活動しています。

203 Gallery Jin Projects, Gallery Jin Esprit+ [Gallery Jin]
 今全まわったある美術展覧を紹介しているギャラリー。『Projects』でコンテンポラリーアートを、『Esprit+』で伝統や職を心こめて作り出す芸術を営んでいます。

204 +81 Gallery+Lab
 国内外のアーティストによる作品を展示紹介するほか、作品家の制作・販売・海外展開までのサポートを届け、若手アーティストの育成を図るプロジェクトスペース。

205 Island MEDIUM
 観覧を通して人と人をつなぎ、アートを社会に届けるべく活動をスタートさせた Island JAPAN。東京での情報発信拠点として3331内に「Island MEDIUM」をオープン。

206a せろがチアートセンター 東京
 取田善太郎氏が創設したアートプロジェクト「せろがチ」の東京での活動拠点。アートだけでなく、映画や地域活動等の情報発信・交流のための多用途スペースです。

206b アーティスト・イニシアティブ・コマンドN
 1988年からオランダを拠点にアートプロジェクトを企画・実現するアーティストグループ。3331では地域社会とアートの新しい関係を模索しています。

207 St.ART+ [SMN office]
 グレインデブ系系統生協会の「St」の発行や「映画甲子園」、「音楽甲子園」、「アニメ甲子園」などの全国大会を主催するSMNの活動スペースと情報発信基地。

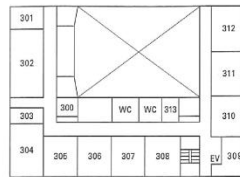
208 A/A gallery A/A shop [エイブル/アート/ジャパン]
 NPOエイブル/アート/ジャパンによる、障害のあるアーティストの作品を中心に販売する日本初のコマース・ギャラリー。アートグッズも販売。

209 nap gallery
 ユニバーサルコミュニケーションができる空間を目指し、若者を中心に扱うギャラリー。この空間でしか表現できない特別な展示を行なっています。

210 株式会社一貫堂
 文具・和菓子・絵画におけるつぎやき及び販売サービスの運営を行っています。

体育館 [\[リンク先\]](#)
 幅約18m、奥行約35mの広大な体育館。クリエイティブスペースとしてもアレンジできます。

3F



300 INEGA.D [イネガ.デザイン]
 アートディレクター→産品デザイナーを軸とするデザイン事務所。広告を中心に企画からデザインまでトータルに手がけます。

302 東京文化発信プロジェクト ROOM302
 東京の魅力を地域・市民の参加により創造・発信する「東京アートポイント計画」の一環として、アートプロジェクトを研究する「Tokyo Art Research Lab」を展開。

303+304 g3 [トリプルジウム]
 編集者・クリエイティブディレクターである建築家兼編集者の建築学校「superschool」, 「gallery」, 編集室「editroom」が融合したプロジェクトルーム。

305 ASYL
 3331のトータルデザインも手がけるアートディレクター・佐藤直樹が率いるクリエイティブスペース。企画・ディレクション・デザインをトータルに行います。

306 ポストワーク
 伊藤がピンをはじめとするプロデューサー、プログラマー、エディター、デザイナーなどによって構成。書籍、Web、映像、展覧会、イベントなどの企画・制作を行います。

307 スイッチサイエンス
 遠征サイトでも電子工作用品を販売し、電子工作を趣味とする人からプロまで、たくさんの人から支持を集めるスイッチサイエンス。

308 日々の明後日
 アーティスト・日比野亮が各地で展開するアートプロジェクトのためのオルタナティブスペース。さまざまな職種、人々が日常の中で出会うことにより、明日・明後日・明々後日に続く新たなアートの展開を促す。最終ワークショップも開催。

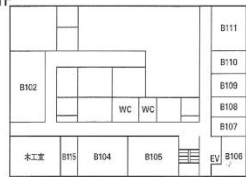
309 アフタヌーンサイエンス
 建築・制作を生産プロデューサー・清水森次が代表を務めるコンサルティングファーム。現代建築家等による動くまちづくりを展開中。

310 ストリートメディア
 デジタルサイネージとモバイルを駆使させた情報伝達で人を動かし、街を活性化させるエリアマーケティング事業に取り組みむストリートメディアの活動スペース。

311・312 ジェアオフィス
 複数の入居者が共有するスペース。

313 はんだづけカフェ
 スイッチサイエンスが運営する、電子工作のための道具や場所をシェアすることが出来るオープンスペース（電子工作の部品は各自持参）。“かっこ”と書いてお茶はありません！

B1F



B102 ARTS FIELD TOKYO スタジオ
 3331のアートスクール「ARTS FIELD TOKYO」スタジオコース専属のシェアスタジオ。

B104 [\[リンク先\]](#)
 展覧会など長期レンタルができるスペース。多目的なイベントでの使用もできます。

B105 ARTS FIELD TOKYO オープンスペース
 3331のアートスクール「ARTS FIELD TOKYO」のオープンスペース。アーティスト、クリエイター、コレクターなど、あらゆる分野で活躍する方々を講師にお招きするレクチャーや、スクールメンバーによる展示を開催することも。

B106 RENSEL PRINT PARK by seikohsha
 おもく創し 100周年を迎える印刷会社「株式会社緑野社」が企画運営するスペース。展示やワークショップなどが開催されます。

B107 Bambinar Gallery [バンビナー] ギャラリー
 現代美術専門の企画ギャラリー。ギャラリースペースでは、若手アーティストを中心とした展覧会を開催しています。

B108 レジデンススタジオ
 レジデンスアーティストが使用するスペース。

B109 cfsHE ANNEX
 国際的なアーティストの企画、交流、ワークショップ事業などを行う事務所。事務所前の壁画ではアーティスト・イン・レジデンスの公募、新着情報を紹介。

B110 sagocho archives
 「佐賀町エキジビツトスペース」の活動と資料、作品のアーカイブスペース。展示し、語り、アーカイブをショーケース化するという新しい試み。

B111 エイブルアート・スタジオ [エイブル/アート/ジャパン]
 誰にも開かれたアートスタジオ。アート・社会・福祉を切り口に多岐な編成やワークショップを開催しています。企画提案も歓迎！

準備室 [\[リンク先\]](#)
 イベント等の仕込みや控え室として利用できるスペース。冷暖房、ガスコンロ、電子レンジなどが備わっています。

屋上
 3331屋上オーガニック菜園
 運動場として使われていた屋上は、ひとやすみのレンタル菜園に、一般公募によって決定した利用者に貸し出しをしています。

◆運営

- ・運営者 合同会社コマンドA（アーティストが中心となり本事業受託のために設立）
- ・運営資金 開設当初エレベーター・ウッドデッキの整備費として千代田区からの助成を受けた以外、独立採

算。メイン収入は2・3階フロアのサブリース。施設は千代田区からの定期借家（5年）。

- ・運営理念 「千代田の伝統文化現代芸術文化と共に生きるアートセンター」、「国際都市千代田区の求心力を軸に国内外の地域力を繋ぐアートセンター」、「まちに開き、区民と未来の文化を創り出す参加交流型のアートセンター」の3つを基本方針とする。

◆施設の機能

クリエイター支援・学び・コミュニケーション

教室スペースのサブリース／ワークショップの開催／屋上菜園の貸出／カフェ設置／地域や小中学校との連携

リサイクル・ごみ減量

かえるステーション（かえっこ）／藤浩志氏との連携による展示／デザイナー・クリエイター・民間事業者との連携による廃棄素材を用いた作品等の展示・販売

◆施設の様子



▲エントランス・受付



▲メインギャラリー



▲カフェ



▲ギャラリー



▲オフィス系スペース

◆参考になったポイント

- ・1年を通して、様々な展覧会やイベント、ワークショップを実施。アートスクールも開講している。
- ・施設内は一部の展覧会・イベント等を除き、自由に見ることができる。
- ・廃校利用に関し、何を残すべきかを考えて学校の雰囲気を残している考え方が参考になる。
- ・階段デッキにつながる開放的なエントランスなどの設えが参考になる。
- ・廃品を利用したアート作品など、創造性の高さが評価できる。
- ・運営の公募時から区から地域との関わりを求められており、ワークショップやアートスクールを始めとして地域との関わりを重視した事業を積極的に展開。

(4) ^{みやこ}京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）

◆施設概要

- ・平成 14 年開設
- ・所在地 京都市伏見区深草池ノ内 1 3 間 午前 10 時～午後 9 時
(1・2F 展示室は午後 5 時まで)
- 木曜、年末年始
- ・管轄 京都市



- ・開館時
- ・休館日

◆設置目的

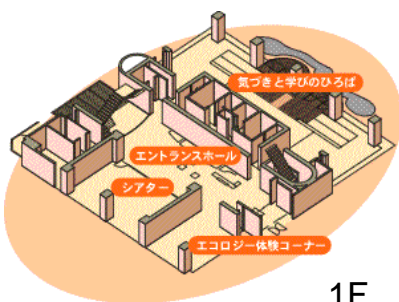
1997 年に開催された地球温暖化防止京都会議において京都議定書が採択された。これを記念し、環境学習活動・環境保全活動の拠点として開設された施設。

◆運営

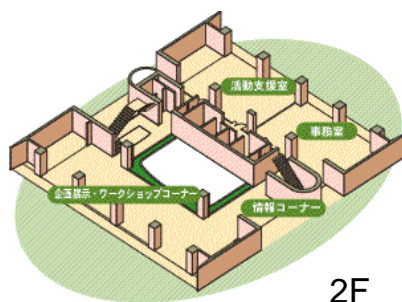
- ・運営者 財団法人京都市環境事業協会（京都市の財政援助団体、指定管理者）
- ・運営資金 169,169 千円（うち人件費 76,490 千円、2012 年度）
- ・コンセプト 見て、触れて、感じる「体験型展示」／建物全体がエコ展示／パートナーシップによる学習と活動／みんなにやさしい施設をめざして
- ・ボランティアの活用 「エコメイト」と呼ばれる環境ボランティアが約 50 名強が展示の説明やイベントの企画・運営の支援などを行っている。3 年の任期制とし、任期終了後は地域で環境活動の輪を広げるリーダー的な役割を担っていくことを目標としている。エコメイト卒業生は「京エコサポーター」として登録することができ、約 150 名の登録がある。

◆施設の機能

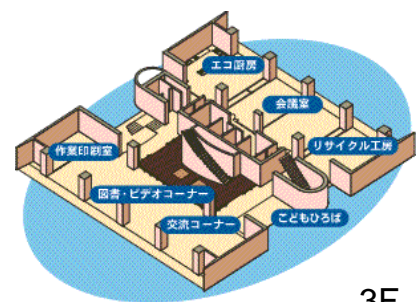
- 1F 「気づいて」 エントランスホール、シアター、エコロジー体験コーナー、常設展示
- 2F 「学んで」 企画展示・ワークショップコーナー、事務室、活動支援室
- 3F 「活動する」 交流コーナー、環境図書コーナー、こどもひろば、リサイクル工房、エコ厨房、会議室、印刷作業室



1F



2F



3F

◆施設の様子



▲箱を開けながら学習できる展示



▲太陽光発電パネル



▲放射冷暖房のチューブ



▲屋上のビオトープ



▲照度センサー・エコ虫



▲環境図書コーナー

◆参考になったポイント

- ・施設の目標を「人づくり」に設定し、「エコメイト」と呼ばれるボランティアを3年の任期つきで活用。エコメイト卒業生が各地域で環境活動を推進することにより、京都市全体へ環境活動の輪を広げていくことを狙っている。
- ・ターゲットを専門家以外に絞り、「むずかしいことをわかりやすく伝える」ことを目標とした体験型の展示を行っている。
- ・展示はエコメイトが解説することを前提としており、コミュニケーションを重視している。
- ・「建築自体を展示物」とし、環境負荷低減のメリットが小さい設備も見学者に紹介するためにあえて設置し、エコ虫と案内板による解説を行っている。しかし、実験的に設置した特殊な設備も多く、メンテナンス費用は高い。
- ・ビオトープ、畑、田んぼなどイベントやワークショップなどの活動とリンクした空間がつけられている。
- ・「えこせん」などスタイリッシュな広報誌を発行し、新聞折込みで配布しているほか市営地下鉄31駅に設置している。チラシで京エコロジーセンターの存在を知った利用者が4割を占める。(アンケートによる)
- ・イベントは「きっかけづくり」と捉え、環境問題に無関心な人にも関心を持ってもらえるよう、多様な切り口で開催している。
- ・指定管理期間が4年であり、中長期の視点に立った計画づくりや運営に難しさがある。

◆施設の機能

参加体験型の展示

環境エネルギー館の展示物は、触って動かすことができるハンズ・オン方式をとっており、解説文などの文字表記は最小限にとどめている。

インタープリター制度

展示物やプログラムをきっかけに見学者の感性を刺激し、ともに考えることで環境問題への理解を深めていく手助けをする案内人「インタープリター」が展示について説明を行っている。

環境に配慮した設備

建物自体も展示物との考えの下、光・風・水・緑・土など自然の力を最大限に活用している。都市ガスを用いた発電方法の燃料電池と、廃熱の有効利用を実現するコージェネレーション・システムを利用するなど、環境への負荷を極力少なくすることに務めている。

◆施設の様子






▲インタープリターによる解説 ▲水循環を学ぶ装置 ▲屋上ビオトープ

◆参考になったポイント

- ・目に見える展示物から、その背景にある現象について伝える、考えるきっかけを持ってもらう手助けをするインタープリターが活躍している。
- ・インタープリターは、教育関係者、造園、環境など様々な分野の出身の人材がおり、現場でのOJT研修により、経験年数を積んだベテランから若手へ伝承していつている。年に数回、外部での研修も実施。
- ・小学校などの団体の見学コースについては、インタープリターが企画し、個別にプランを組み立てている。
- ・インタープリターの手作りの学習教材（ゲーム）があった。
- ・地元の横浜市へ外部講師としてインタープリターを派遣等も行っている。
- ・大規模な展示装置は魅力的ではあるが、維持管理や更新にコストがかかってしまう。

【イベント記録集】

名称	実施イメージ	内容	運営者
おもちゃの交換会 「かえっこ」		<p>おもちゃの交換システム。不要になつたおもちゃを持ち込み、カエルポイントに変換。会場にあるおもちゃをカエルポイントで購入する。カエルポイントはワークショップ等に参加することでも取得できる。</p>	<p>市職員・運営協議会・青少年リーダー</p>
おもちゃ病院		<p>壊れたおもちゃの修理。部品代のみ実費負担でおもちゃを直してもらえる。</p>	<p>おもちゃドクター(日本おもちゃ病院協会)</p>
ごみはどうやって生まれかわるのかな？		<p>資源ごみがどのようにリサイクルされるのか、学習教材を用いた子どもにもわかる展示。</p>	<p>産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター</p>
ごみのゆくえ・分別クイズ		<p>武蔵野市のごみのゆくえに関するパネル展示と分別クイズ。</p>	<p>市職員(ごみ総合対策課)</p>

<p>マイバックをつくらう</p>		<p>クレヨンやスタンプを使って、オリジナルエコバッグを作るワークショップ。</p>	<p>市職員(ごみ総合対策課)</p>
<p>食品ロス展示・クイズラリー</p>		<p>食品ロスに関する展示とクイズラリー。</p>	<p>市職員(ごみ総合対策課)</p>
<p>クリーンセンターをもっと知ろう(運営協議会の歴史)</p>		<p>クリーンセンターや運営協議会の歴史に関するパネル展示。</p>	<p>運営協議会</p>
<p>クリーンセンターをもっと知ろう(クリーンセンター見学会)</p>		<p>クリーンセンター工場見学、新クリーンセンター工事現場見学。</p>	<p>市職員(クリーンセンター)</p>
<p>ペットボトルでつくろう!</p>		<p>ペットボトルを使った植栽ポット、植木鉢づくり。</p>	<p>運営協議会</p>

<p>ペットボトルオブジェ</p>		<p>ペットボトルを5000本集めてワニのオブジェを制作。</p>	<p>武蔵野美術大学学生有志</p>
<p>カフェ</p>		<p>けやきコミセンのコミュニティカフェ「けやき茶社」の出張。</p>	<p>けやき茶社</p>
<p>ペチャクチャカフェ 「クリーンセンターとわたし」</p>		<p>一人20枚の写真に20秒ずつコメントをつける形式で、クリーンセンターの思い出について語るトークショー。現クリーンセンターにゆかりのある市民、事業者、市職員がプレゼンテーションをした。</p>	<p>出演：運営協議会委員・運営建設企業・市職員</p>
<p>お茶わんリサイクルをしませんか</p>		<p>不要になった陶器を回収し、再利用を促進。再利用されなかった陶器、割れてしまった陶器は岐阜県土岐市に送り、陶器の材料としてリサイクルする。</p>	<p>クリーンむさしのを推進する会</p>
<p>廃材(ごみ)アートワークショップ「なくしもの屋」</p>		<p>クリーンセンターに集まるみんなの「いらぬもの」(廃材)のかけらを使って、武蔵野の思い出に隠れている「かけら虫」をつくるワークショップ。</p>	<p>アーティスト武藤亜希子</p>

<p>「すてたいけどすてられないモノ」展</p>		<p>美術作家の藤浩志氏監修により、市民から「すてたいけどすてられないモノ」を募集し、モノをエピソードと共に展示。ごみとは何かを探るプロジェクト。</p>	<p>藤浩志+テラッコ(TERATOTERAボランティアスタッフ)</p>
<p>ともとのガラクタワークショップ・ガラクタ音楽会</p>		<p>日本廃品打楽器協会会長でドラマーの山口とも氏によるクリーンセンターに搬入されるごみを使って打楽器を作り、演奏するワークショップ。</p>	<p>山口とも</p>
<p>アーティストトーク</p>		<p>美術作家の藤浩志氏、日本廃品打楽器協会会長でドラマーの山口とも氏によるトークショー。進行は一般社団法人 Ongoing 小川希氏。</p>	<p>藤浩志、山口とも、一般社団法人 Ongoing</p>
<p>クリエイティブリユース</p>		<p>クリエイティブリユースの事例等について講演。</p>	<p>大月ヒロコ</p>
<p>仮囲いアートワークショップ</p>		<p>新クリーンセンター建設現場を囲む仮囲いを市内の小学生 61 名とともにアートで装飾。</p>	<p>長谷川仁</p>
<p>ネイチャークラフト、ネイチャーゲーム</p>		<p>武蔵野クリーンセンターの敷地内にある樹木を学ぶネイチャーゲームと、枝やどんぐり等を使った工作。</p>	<p>自然塾</p>

<p>風力発電を体感する工作</p>		<p>ペットボトルとモーターを使って発電の仕組みを学ぶ工作をするワークショップ。</p>	<p>NPO法人 fu～fu～隊</p>
<p>クリーンセンターの樹木で工作</p>		<p>新クリーンセンター建設に伴い伐採した樹木の一部を使って、丸太切り体験やオブジェ、小物などをつくるワークショップ。</p>	<p>木のぬくもりプロジェクト</p>
<p>いらなくなった傘でCASAストラップをつくろう！</p>		<p>壊れた傘を解体して、傘の布や留め具などを組み合わせてストラップをつくるワークショップ。手縫い、ボンドなどを使うため子どもも参加できる。</p>	<p>CASA PROJECT</p>
<p>傘をリメイクしてサドルカバーを作ろう</p>		<p>壊れた傘を解体して、傘の布の部分を使って自転車のサドルカバーをつくるワークショップ。ミシンを使用。</p>	<p>南町エコの会</p>
<p>牛乳パックと古着でカルトナージュ作り</p>		<p>牛乳パックに古着の布を貼り付けてつくるカルトナージュのワークショップ。小物入れを制作。</p>	<p>松岡 千晶</p>

<p>牛乳パックで手すきハガキづくり</p>		<p>牛乳パックを溶かして手すきハガキを作り、牛乳パックのリサイクルを学ぶワークショップ。</p>	<p>山田洋治商店</p>
<p>廃油キャンドルを作ろう</p>		<p>廃油でキャンドルを作るワークショップ。</p>	<p>武蔵野市職員</p>
<p>靴を育てよう！長く大切に使うための靴磨き教室</p>		<p>靴磨きのワークショップ。良いものを長く大切に使うライフスタイルの提案。</p>	<p>Aozora shoeshine studio</p>
<p>着なくなった服でさき布コサージュをつくろう！</p>		<p>古着をさき、ひも状にしてコサージュを作るワークショップ。</p>	<p>糸糸</p>
<p>生ごみたい肥で野菜を作り、ごみを減らそう</p>		<p>生ごみたい肥作りを学びながら、市民農園で野菜作りを体験するワークショップ。全5回の連続講座。</p>	<p>クリーンむさしのを推進する会</p>

<p>野菜をムダにしない！保存食づくりを学ぼう</p>		<p>余らせてしまった野菜を使って、ピクルスなどの保存食を作るワークショップ。</p>	<p>Iina</p>
<p>地産地消！地元の野菜でエコクッキング</p>		<p>市内産野菜を材料に、野菜くずも使い切るエコクッキングの講座。</p>	<p>こどもごはんの会</p>

5つのつぶやきとエコプラザ

1 ぶんぶんゴマ

子どもの頃、おばあちゃんが大きなボタンでぶんぶんゴマを作ってくれたな。

私も子どもにつくり方を教えてあげようかな。

だけど大きなボタンはウチにないな。

こんにちは。

たくさんあるんですね。もらっていいですか？

どうぞどうぞ。使った後ごみにしないでくださいね。

これはごみだったのですか？

家庭ごみを収集してクリーンセンターに持ち込まれた衣類のものです。

服からボタンを外したんですか？

毎月、洋服分解ワークショップをしていて、参加者がボタンを外して分類したものです。分解した生地も糸もありますよ。

楽しそうですね。

今度の日曜日にあるのでよかったら参加しませんか。参加費 200 円ですが。みんなおしゃべりしながら楽しそうに手を動かしています。

子どもと一緒にでもいいですか？

もちろんどうぞ。お子さんの参加は多いので。予約の必要はありませんから当日ここに来てください。

来ます！

そういえばおばあちゃんも着なくなった服からボタンだけ外して取っておいたのかもしれないなあ。

新たに買わなくても使える素材がある。
「素材ライブラリー」

すてなくてもいい方法のヒントをくれる
機会がある。
「ごみ素材化ワークショップ」

2 着物

母の形見の着物すてられない。ふ～。

こんにちは。

いらっしゃい。

ステキなバッグですね。

すべて廃棄された素材で作られています。

へー、これも？

これは裂織ですね。古い着物を紐状に裂いて織った生地できています。

着物ですか。うちにも着ない着物があるんですが、こんなバッグなら使いたい。

着ない着物を箆笥にしまっている人は多いみたいですね。先日もどうしたらいいかと相談に来た方がいました。

着物を買取る市内の業者や、洋服に仕立て直してくれる方、裂織の作家さんも紹介しました。

どうしたんですか？

すべて直接話を聞いたそうですが、結論はまだ出ていないそうです。でも、すてないことは決めたとおっしゃっていました。着なくても他の可能性があるならもうしばらく考えると。

へー。

来月裂織の事業があるので参加しませんか。神戸から作家を招いて行きます。作家さんがここにしばらく滞在して、いらなくなった着物を集めるところから行きます。

面白そう。参加したいです。どうすればいいですか？

5回シリーズで毎回定員があるのでウェブから予約してください。参加費が5回通して10,000円、1回だと2,200円です。

わかりました。ところで作家さんはどこに寝泊まりするのですか？

市内の空き家を無償で借りられないか交渉しているところです。なければ市の臨時宿所を使おうかと思っています。お風呂がないので、クリーンセンターの事務所棟にあるお風呂を使ってもらおうかと。ホームステイもいいと思ったのですが、今回は準備できませんでした。

そうですか。ありがとうございます。

母の形見を自分でバッグにできるかも。

すてなくてもいい方法のヒントをくれる展示がある。
「展示事業」

すてなくていい方法を一緒に考えてくれる人がいる。
「相談機能」
そのためのつながりがある。

すてなくてもいい方法のヒントをくれる機会がある。
全ての取り組みをプロジェクト化する。
風の人（外部の専門家）の視点を取り入れる。
「プロジェクト事業」
「滞在型事業」

風の人を地域で受け入れる。
「地域滞在機能」

3 お屋敷

あの立派なお屋敷が無くなった！昨日まであったのに。
屋敷どころか植木もない。

あそこの角のお宅取り壊されて何もなくなっていたけど、ああいうごみはどこに行くのですか？

法律で処理方法が定められていて多くは資源化されます。

資源化？

例えば木材はチップにして建材の材料になります。

リサイクル的には問題ないんだ。

子どもの頃住んでいた家の隣に、あの家と似た雰囲気の家があって、何の用かときどき母と一緒に邪魔した時のことを思い出します。感じのいいおばあちゃんが椅子に座って編み物をしていて、そばに調度品のようなテーブルがちょこんと置いてあって、ステレオから静かな音楽が流れていて、天井から下がったライトの傘が金魚鉢みたいで可愛くて、縁側の向こうからお花のいい香りがしてきて、出してくれたケーキがすごく美味しくて。

あの家もずうっと空き家だったみたいだけど、家の中の物はどうしたんだろう？家具とか何か。

引っ越しで出るごみはクリーンセンターに持ち込まれることも多いけど、売却の場合は業者に一括で処分してもらうケースが多いみたいですね。

処分てどうするんですか？

遺品のようなものは整理して親族に渡されるでしょう。それ以外のものでも使えるものは中古市場に流れて、使えないものは廃棄物処理業者に渡るのでしょね。

なんかもったいないですね。家の物がすてられることもそうだけど、あの佇まいを好きな人がいたはずなのに、それとは関係なくある日突然消えてしまうことに、寂しさを感じますね。せめて空き家にしている間に、あの家を気に入っている人同士でシェアできるといいのに。

そうですね、市内にはそういう家がまだまだたくさんありそうです。

どうしたらいいかわかりませんが、どうにかできたらいいですね～。

今度モヤモヤ・カフェに来ませんか？

なんですかそれ？

そういうどうしていいかわからないモヤモヤをみんなで持ち寄って語り合う場です。ひとりでモヤモヤするよりみんなでコーヒーを飲みながら話すとちょっとすっきりするし、いいアイデアが出やすくなります。

いつですか？

毎週日曜日の朝8時からここです。参加費無料で誰でも自由に参加できます。飲み物は有料ですが。

朝なんですかね。どんな人が参加するのですか？

もちろん自分のモヤモヤを持ち込む人が参加しますし、事前にモヤモヤをフェイスブックで告知することもできるので、それを見て関心のある人が来たりします。ただ人のモヤモヤを聞くのが好きで来る人もいるし、単に一緒に話をするのが楽しくて毎回参加する人もいます。朝ご飯を食べながらの人もいますよ。要するに誰でも参加できます。

あまり生産的ではない気が。

そうですね、でも何回か続けるうちにプロジェクトになったものもあります。「井戸プロジェクト」は、井戸がある古いお宅があったのですが、そのお宅が敷地をマンション業者に井戸毎切り売りすることになって、近所の人が井戸だけは残したいのだけど、市に話してもどうにもならなくてと、ここに参加したことからはまったもので、そのうち、マンション業者も井戸の再生や管理にお金を負担してくれるのであれば残して地域の人で利用できるようにしてもいいということになり、クラウドファンディングで資金を集めて残すことができました。マンション業者も敷地の一部に菜園を整備して、入居者と地域の人が井戸の水を利用して野菜を作っています。

そこまでできたらすごいですね。参加しようかちょっと考えてみます。

お屋敷プロジェクトになるかなー。

すてなくていい方法を一緒に考えてくれる人がいる。そのためにつながりがある。

「モヤモヤ・カフェ」

誰でも、いつでも参加できる場。

全ての取り組みをプロジェクト化する。
全て関心のある人が企画から参加する。

「市民発意型プロジェクト支援事業」

4 修理

修理代がそんなにするのか？部品や材料代はたいしたことないけど、出張代が1万5,000円。☹

これ自分で直そうと思うと材料はともかく道具を揃えるだけでも大変だ。そもそもマンションでできるか？

道具を借りたいのですが。

どうぞお好きなのを使ってください。

ここで修理してもいいのですか？

工房長がいる時ならいつでもどうぞ。

今はいないのですか？

残念ながら今はいないですね、その場合あなたが工房長になることもできますよ。

ええ、工房長？

はい。工房長は自分の作業をしながら、見学に来た人や相談に来た人の対応をします。

相談で、無理です素人なので。

修理のワークショップに参加しませんか。ちょうど今日午後から、本宿小学校の技術科室で開催します。一人くらい空きがあったと思います。ワークショップに参加すれば明日から工房長になれますよ。

本宿小学校ですか。ちょっと遠いな。

お住まいはどこですか？

関前です。

関前南小学校は来月になってしまいますね。来週千川小学校でやりますよ。

そうですか。ありがとうございます。

1万5,000円払うのやめて、行ってみようかな。

古くなったり、壊れたりしたものを直して使えるようにできる場所、道具がある。

「道具ライブラリー」

「リペア工房」

利用者をお客さんにしない。利用者同士で学び合う関係

修理の技術を教えてくれる人がいる。その機会がある。

エコプラザからも地域に出かける。

「地域連携お出かけ事業」

市域全体を捉えた事業を展開する。

「ネットワーク機能」

5 映画

こんないい映画市民にも観てもらいたい！

こんにちは。「365 日のシンプルライフ」という映画の上映会を企画しています。市民のライフスタイルを変えるというエコプラザの理念に通じる映画です。企業から協賛を集めるのに、ぜひ後援してください。

いい映画だと聞いています。でも後援よりもっといい方法があるかもしれません。今度の日曜日に「モヤモヤ・カフェ」があるのでその話をしませんか。いろんなアイデアが出ると思います。

それ、このプラットフォームで上映したらどうかな。新クリーンセンターに持ち込まれたシートをスクリーンにして。バトンも手作りできるんじゃないかな。夏場だったら、夜、芝生広場でやってもいいかも。

配給会社に支払う資金が必要なのです。それを集めて、大野田小学校や千川小学校で上映したいのです。

市内で巡回上映するようなものだったら、配給会社に支払って上映するより、映画を作ったらどうかな、その映画と同じように所作品すべてエコプラザに預けて、1日一品選択することを誰かが実践して、それを撮影する。

一年かけたプロジェクトにするってことか。それを来年エコプラザで上映する。それは相当インパクトがあるよ。

その企画を考えるプロジェクトチームを作りましょう。

えええ??!

プロジェクト化すればエコプラザとの共催事業としてこの場所を使うことができます。

思わぬ展開になっちゃったなー。

「こうしたことができたらいいな」に耳を傾け、一緒に考え、取り組む。それができる人のつながりがある。

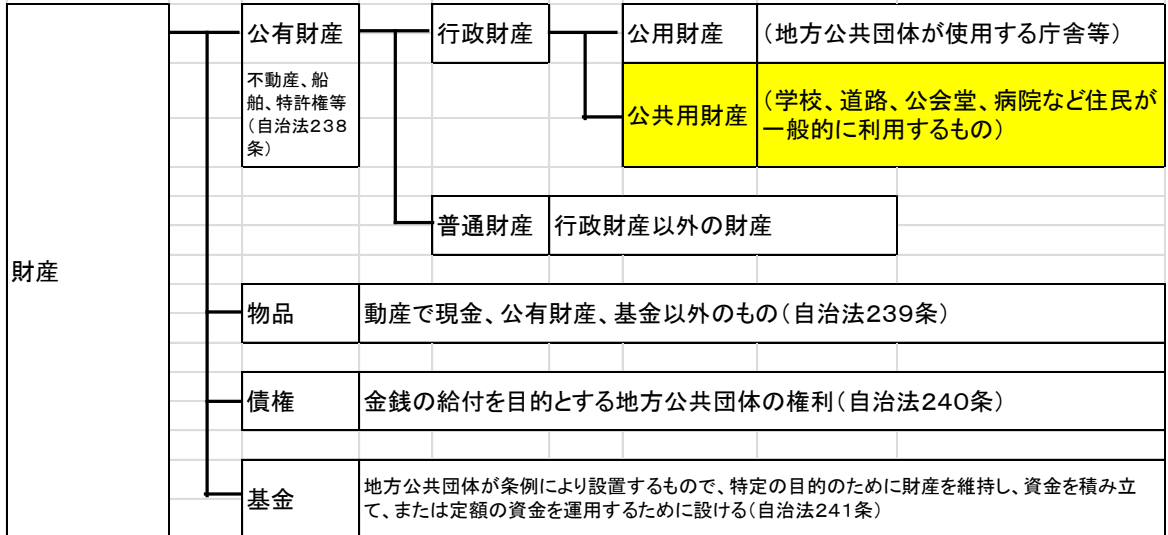
「モヤモヤ・カフェ」

全ての取り組みをプロジェクト化する。
全て関心のある人が企画から参加する。
「市民発意型プロジェクト支援事業」

エコプラザがプラットフォームになって、
市民個々のしたいことを後押しする。
「市民共催事業」

地方公共団体の財産について

1 財産の種類



2 財産の管理と処分

■行政財産の管理と処分

・行政財産は、直接、特定の目的のために利用されるものであるため、貸し付け、交換し、売り払い、譲与し、出資の目的とし、もしくは信託し、または私権を設定することは禁止されている(自治法238条の4)

・行政財産は、原則として私法上の関係において運用することが禁止され、これに違反する行為は無効とされる(自治法238条の4)。例外的に、その用途または目的を妨げない限度で、①貸し付け、または私権を設定すること、②その使用を許可することができる(自治法238条の4)。

■普通財産の管理と処分

・普通財産は、本来私法の適用を受けるもので、貸し付け、交換し、売り払い、譲与し、出資の目的とし、もしくは私権を設定し、信託することができる。

公の施設について

1 公の施設の意義

公の施設は、自治法に特有の概念であり、「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設」をいう(自治法244条)。公の施設の特徴は以下のとおり。

・公の施設は、「住民の福祉を増進する目的」で設置されるものである。したがって、財政上の必要から設けられる競馬場・競輪場や、社会公共の秩序を維持するために設けられる留置施設などは、公の施設にあたらない。

・公の施設は、「住民の利用に供するための施設」である。したがって、地方公共団体が使用する庁舎、利用者が限定される試験研究機関などは、公の施設には当たらない。

・公の施設は、「その住民」の利用に供するための施設である。したがって、主として他の地方公共団体の住民の利用に供するための観光ホテルや物品陳列場などは、公の施設に当たらない。

・公の施設は、物的施設を中心とした概念であり、人的要素は必ずしも必要でない。したがって、物的施設のみからなる道路、墓地などは公の施設に当たる。

・公の施設は、地方公共団体が設置するものである。

2 公の施設の設置及び管理

・普通公共団体は、法律またはこれに基づく政令に特別の定めがあるものを除くほか、公の施設の設置及びその管理に関する事項は、条例で定めなければならない(自治法244条の2)。

・公の施設は、条例の施行をもって供用開始となり、物的施設の消滅や設置条例の廃止によって供用廃止となる。公の施設の管理に関する事項は、利用の許可やその取消し、使用料の額とその徴収方法などである。これを条例で定めるとしたのは、公の施設が住民の日常生活に密接であり、その設置と管理に関する事項が住民の利害に深く関係するところにある。

エコプラザ（仮称）整備を検討する際の参考データについて

1 武蔵野市基礎データ（平成29年1月1日現在）

面積 10.98平方キロメートル

住民登録者数 143,964人

世帯数 75,240世帯

2 職員数

①市役所（平成28年4月1日現在） 933人

②NTT武蔵野研究開発センタ 2,000人（うち協力会社1,000人）

3 利用者数

①市役所（平成27年度）

戸籍住民票関係交付件数（印鑑登録、戸籍、住民票等） 209,284件

税関係証明・閲覧件数 42,753件

②クリーンセンター見学者数（平成27年度） 962人（39団体）

③総合体育館（平成27年度） 248,416人

④陸上競技場（平成27年度） 37,949人

⑤温水・屋外プール（平成27年度） 162,919人

⑥野球場（平成27年度） 18,387人

⑦テニスコート（平成27年度） 50,706人

⑧緑町スポーツ広場（平成27年度） 16,928人

⑨ストリートスポーツ広場（平成27年度） 6,000人

⑩緑町コミセン（平成27年度） 36,548人（概数）

⑪NTT武蔵野研究開発センタ

・来客 20,000人（概数）

・R&Dフォーラム（毎年2月開催） 8,000人（概数）

・資料館 12,000人（概数）

⑫関東バス路線（平成27年度・1日平均乗客数）

・三鷹駅～北裏 4,450人

・三鷹駅～武蔵関駅 1,893人

・三鷹駅～田無橋場 1,158人

・三鷹駅～NTT武蔵野研究開発センタ 1,390人

・吉祥寺駅～柳沢駅（市役所止まりを含む） 573人

⑬ムーバス路線（平成27年度・1日平均乗客数）

・北西循環 1,750.5人

4 住民登録者数（平成28年1月1日現在）

①緑町三丁目 720人

②吉祥寺北町五丁目 1,731人

③緑町二丁目 5,436人

【出典】

- 1 市報1月15日号
- 2 ①平成27年度事務報告書 ②NTT武蔵野研究開発センタへのヒアリング
- 3 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩平成27年度事務報告書 ⑪NTT 武蔵野研究開発センタへのヒアリング ⑫⑬2016
市勢統計
- 4 平成27年度事務報告書